

第76回「くまもとベンチャーマーケット二火会 in XOSS POINT」を開催しました。

令和6年2月6日（火）開催 （開催場所：XOSSPOINT & オンライン）

今回は、5社のベンチャー企業によるビジネスプラン発表を行い、会場、オンライン合わせて約90名の方々にご参加登録いただきました。

- ◇ 特別講演 14:05 ~
- ◇ プレゼンテーション 14:25 ~

❖特別講演

「日本政策金融公庫の新事業・スタートアップ支援の取組み」

株式会社 日本政策金融公庫

新事業・スタートアップ支援室西日本新事業・スタートアップ支援センター 課長 佐々木 大志 様
国民企業事業熊本支店創業支援センター 上席所長代理 金子 尚弘 様

❖Coatolie(コアトリエ)

代表 大山愛美 様

【事業名】 「衣服仕立て直しのDXによる無人店舗展開」

【参加目的】 資金調達、販路拡大・事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

衣服裁縫修理業。体型に合わせた補正やデザイン変更などを行っています。ウエディングドレスや着物のリメイク、洋服のフルオーダーなど、高度な技術を要するお直しも承っています。日本が誇る「衣」の伝統技術である「お直し（補正）」を用いて社会課題の解決に挑み、さらに国内だけではなく、着物や残布活用など多くの「衣」の日本文化を擁する価値向上に繋がっています。

当店の業務において、顧客の利便性や収益力向上には店舗展開が必要ですが、地方に行けば行くほど人手不足の状況は悪化するため、人がいなければ店舗展開ができない状況です。

そこで、生産性向上と顧客の利便性向上のため、セルフ受付システムによる新たな接客サービスを提供し、更なるオートメーション化を進め、衣服の預かり返却全てセルフ受付システムを自社開発します。顧客管理、接客記録などから分析も可能でありマーケティングにも活かすことができます。また、QRコードを用いた受付デジタル決済システムを導入し、自社ECサイト（PC、スマホ対応）からのセルフ受付も運用します。

これにより、キャッシュレス決済のさらなる普及を促進し、効率的な決済プロセスを提供することができ、衣服お直しの専門的縫製の無人店舗展開が実装できます。お直しのセルフ受付システムを確立し、AIに任せられ



るような人とAIが協力し、安心して誰でもが働ける環境の構築を行います。地元就労支援施設と連携し、就労支援、自立支援、職業訓練校などで技術指導を行っており、お直し作業者を確保すると共に、縫製業界の技術者のすそ野を広げていきます。IT化できるところはIT化し、補正箇所の縫製というIT化できない手仕事部分は技術を継承しながら、衣服お直しのDX化ビジネスモデルの確立をめざします。

✿ Geniusyst 株式会社

代表取締役・経営企画部 荒木雅樹 様

【事業名】 「法人向けクラウドデバイス G-Core」

【参加目的】 販路拡大・事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

Geniusyst 株式会社はIoT/Cloud Computing/Network/AIの4分野で技術開発や製品開発を行なっているITベンチャーです。

現在開発中のプロジェクト「G-Core」は、サーバー主体で動作するデバイス設計が特徴です。CPU やストレージといった主要なハードウェアやOS(基本ソフト)はサーバー上に集約され、ユーザーはディスプレイとバッテリー、画面描画用のチップといった必要最低限の構成の端末を使用します。

現在のノートPCやスマートフォンは10万円、20万円超えが当たり前となっていますが、中小企業が業務効率化のために携帯端末を導入したくても、こういった本体コストの問題がネックとなっています。また、導入したとしても従業員による破損や水没、盗難などの運用コストや情報流出リスクの問題も抱えています。

「G-Core」はこれらの問題に対して、携帯端末に求められる要素を再考し、デバイスの設計を見直すことで本体価格の引き下げと高度なセキュリティの実現、性能を利用用途によって自由に選ぶことができる機能の実装を進めています。



製品はアプリ版の「G-Core App」と専用端末の「G-Core」の2つのバリエーションがあり、導入環境によって選ぶことが可能です。

想定顧客としては、社用端末を導入したいものの前述したコストやリスクの面から導入を躊躇している中小企業様です。具体的には、外回り営業を行なっている会社様や保険外交員に端末を貸与している保険代理店などが挙げられます。



✿ メドキュア株式会社

代表取締役 沼垣 勝 様

【事業名】 「理論に基づいた、低侵襲な近視治療器具」

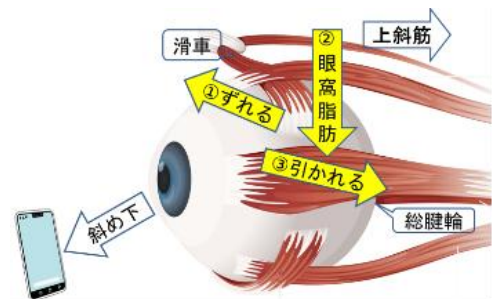
【参加目的】 資金調達、事業提携先獲得、経営パートナー獲得

【商品・サービスの概要】

近年世界の近視人口は10年で6%ずつ上昇し、この上昇率を遺伝では説明できないと、オーストラリア視覚研究所は論文内で言及しています。遺伝でないということは正視者も近視者も同じ遺伝子を持ち、眼球は「円形に形成される」ことになります。しかし近視眼球は楕円形ですので、「変形させられている」ことになります。そして眼球内部は硝子体で満たされており変形要因は存在せず、眼球外部に変形原因があることになります。眼球外部にある変形要因には外眼筋と眼窩脂肪しかありませんので、これらが近視の原因ということになります。

近年スマホやタブレットが普及し、現代人は斜め下を長時間連続で見続けています。そのような長時間に渡る近業をする際には、上斜筋に負担がかかり続け、その滑車方向に眼球がずれ、反対方向に眼窩脂肪が流れ込んで、ずれが固定されることになり、それらが繰り返されることで近視が進行するというメカニズムです。つまり眼窩脂肪を本来の場所へ誘導することができれば、眼球のずれが解消されて視力を回復することが可能となります。

そして弊社商品は、眼球と眼窩の間に差し込み、マッサージすることで眼窩脂肪を誘導することを目的としています。



❀株式会社 精密編集

代表取締役/CEO 横内 裕二 様

【事業名】 「新ゲノム編集法による育種と創薬の支援事業」

【参加目的】 資金調達、販路拡大・事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

株式会社精密編集は新ゲノム編集技術 One-SHOT を社会実装するために設立した会社です。当社は One-SHOT 法を用いて育種と創薬で新事業を開始します。

One-SHOT 法とは One-SHOT 法は創業者が発明した精密なゲノム編集法であり、これまで困難であったゲノム DNA の一塩基置換を容易にしました。本手法は 低コストかつ高品質なゲノムの一塩基置換を実現します。輸出向けロングライフ果物の開発 （背景）国産果物（メロンやイチゴなど）は高品質で海外市場で非常に高く評価されています。しかし完熟した果実は傷みやすいためコンテナによる長距離輸送には向いていません。（目的と方法）そこで当社では果物の成熟ホルモンのシグナル伝達経路を One-SHOT 法で操作し日持ちの良いロングライフ果物の開発を行います。（期待される効果）このロングライフ化により国産果物のコンテナによる長距離輸送が可能になるため 海外販路の開拓や果物農家の高収益化が実現できます。創薬向け遺伝病モデル細胞の開発 （背景）ヒトの遺伝病の多くは一塩基変異によって生じます。これまで遺伝病モデル

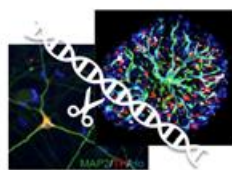


は主に遺伝子組換えマウスが用いられてきましたが その症状はヒトと異なることが多いため代替モデルが求められていました。最近ヒト iPS 細胞（遺伝病患者に由来する iPS 細胞）がその代替モデルとして利用されています。しかし倫理規定が厳格であるため医学系以外の研究室や創薬企業では使いづらい状況が続いていました。（目的と方法）そこで当社は 正常 iPS 細胞において、遺伝病の一塩基変異を One-SHOT 法により導入した遺伝病モデル細胞群を開発・販売します。（期待される効果）これにより非医学系研究室や創薬企業における遺伝病モデル細胞の利用が促進され、病態解明や新薬開発が大幅に加速することが期待できます。



ゲノム編集による
ロングライフ果物の
開発

国産果物のコンテナ輸出と
果物農家の高収益化



ゲノム編集による
疾患モデル細胞の開発
（自社製品）

遺伝病の病態解析と
新薬開発の加速化

❀有限会社カジオ企画

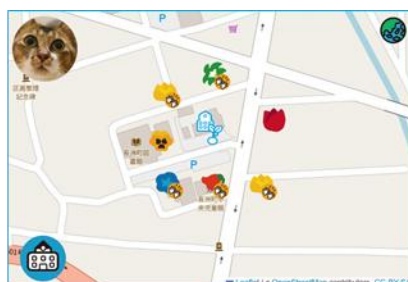
取締役 櫻井 真実 様

【事業名】 「WEB サービス『花咲くプラネット』」

【参加目的】 資金調達、販路拡大、事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

今、子どもたちは SDGs ネイティブであり、SDGs の取り組みについて理解があります。子どもたちは SDGs に興味を持つと共に価値を感じ、その取り組みに共感をしています。私たちの WEB アプリケーション「花咲くプラネット」は、企業や自治体の CSR・社会貢献の取組を子どもたちに SDGs の観点から伝えるツールになります。また、一方的な発信だけではありません。子どもたちが共感を覚えたら、子どもたちはその取組にその気持ちを伝え、もっと知りたい子どもたちと交流することができます。



そうした交流はきっと子どもたちに企業の名だけでなく、事業内容、社会に貢献するその様子まで刻むことでしょう。そして将来、就職先に選び一緒に活躍したいという子どもも出てくるかもしれません。地域に残り、地域を支えたい子どもたちと社会に貢献する企業との出会いを作りたい。それが、私たちのこの事業への思いです。

自治体は、長洲町が熊本県内で一番に名乗りを上げ、長洲町役場と子ども、企業と子どもとの交流が行われ、子どもたちからも多数共感の声が届いています。熊本県内の小・中学校からも賛同いただいて、子どもたちの登録数も増えています。

【会場写真】



開会のあいさつ

公益財団法人くまもと産業支援財団
産業振興部 部長 藤川 孝作



特別講演

株式会社 日本政策金融公庫
新事業・スタートアップ 支援室 西日本新事業・スタートアップ 支援センター
課長 佐々木 大志 様
国民企業事業 熊本支店 創業支援センター
上席所長代理 金子 尚弘 様

商談会、交流・名刺交換会



第76回「くまもとベンチャーマーケット二火会 i n XOSS POINT」へご参加
頂きました皆様ありがとうございました。

次回のご参加も是非よろしくお願いいたします。